

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信濃大町スイーツプロジェクト2022		
事業主体 (連絡先)	大町市プロモーション委員会 大町市観光課 胡桃澤		
事業区分	(6) 観光振興、雇用拡大・(8) その他の地域の元気を生み出す地域づくり		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	1,175,041 円	うち支援金：	503,000 円

事業内容

- スイーツラリー事業
 - スイーツ店舗12、コーヒー店舗5が参加店となるスイーツラリーの実施。
 - スタンプラリーの台紙にあたるタンブラーを販売。参加店対象商品購入者に、店舗ごとのオリジナルステッカーを配布する。また、集めたステッカーの数に応じて特別な景品ステッカーをプレゼントするという特典により、周遊を促す。
- Instagramキャンペーン事業
 - 特定のハッシュタグを付け投稿した優れた作品の中から選考し、景品をプレゼントする。情報発信の手段として活用。



【スイーツラリーグッズ】

【目標・ねらい】

- ① アルペンルート観光のコンテンツ拡充
- ② 市内での消費促進。黒部ダムの麓大町市の認知度向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 対象スイーツの売上前年比
 - ・黒部ダムでの売上 : 対R3比 622%
 - ・黒部ダムを除く市内での売上 : 対R3比 77%
- ②スタンプラリースタンプ役割グッズ配布数前年比
 - ・黒部ダムでの配布数 : 対前年比 357%
 - ・黒部ダムを除く市内での配布数(スイーツのみ) : 対前年比 140%
 - ・黒部ダムを除く市内での配布総数(コーヒー店込) : 対前年比 174%。 イベント総売上高 5,945,080 円。

※対象スイーツが完売した場合のみ、ラリー台紙役割グッズ持ち込みで、対象外スイーツ購入でもステッカー配布となる。

※自己評価【 A 】

【理由】

ほとんどの数値が前年度を上回り、満足いく結果となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・地域事業者が主体となり商品開発を行うことは、事業者の個性ある商品の開発や店舗の魅力向上、新たな取り組みに対する意欲を生み出し、さらに発展的な内容に成長していくことができる。
- ・地域事業者がテーマを共有し、参加者が店舗を周遊する仕組みであるため、観光客と地域住民や、事業者間のつながりが生まれる。

→大町市一体となり取り組むことができ、ほとんどの関係者が大きな相乗効果が生まれたと感じている。
アフターコロナ後の新しい取り組み方を考えながら、事業者が主体となり継続していくことが望ましい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある